

# 胸部 2回目

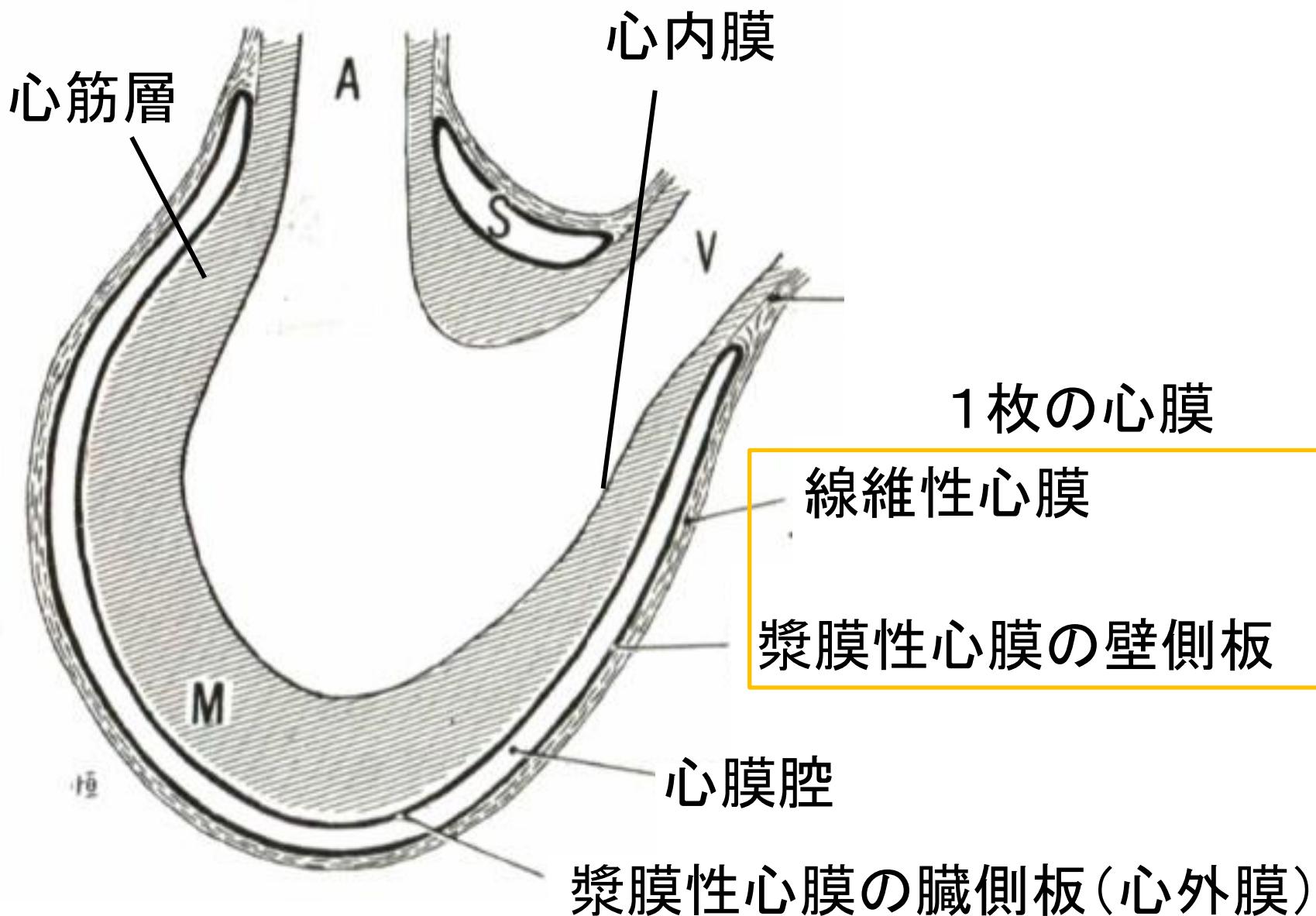
今回主に行うこと

- ・縦隔の観察
- ・心臓の観察

配布された肉眼解剖学実習手引書(胸部・腹部)を持参すること。

手順は実習手引書に従っています。

スライドに示してあるページは実習手引書に対応しています。



## 心臓の取り出し

血管を心膜内で折り返しに近いところで切る。

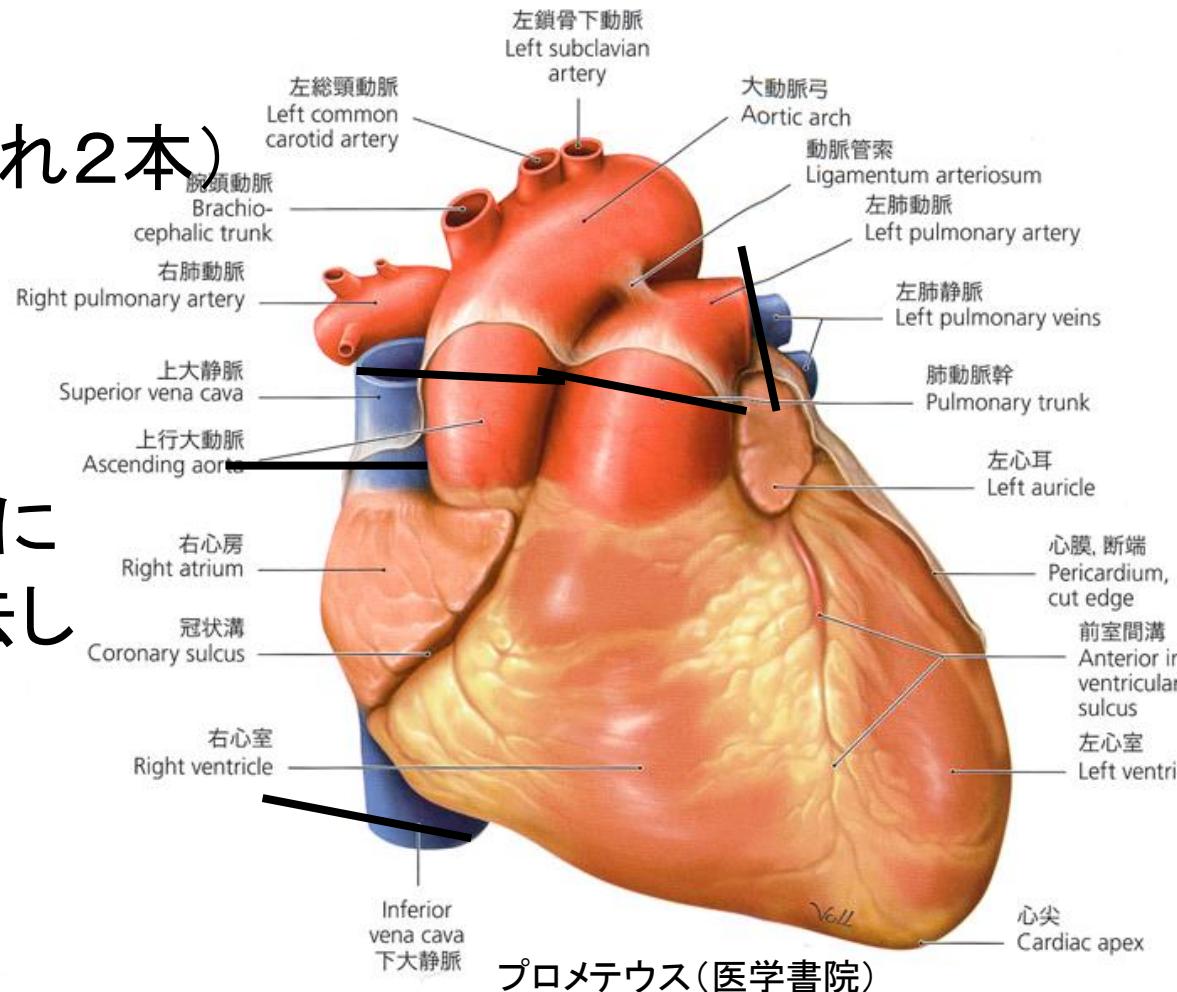
- a) 肺動脈と大動脈(肺動脈は左右に分かれる直前で切る)

b) 下大静脈

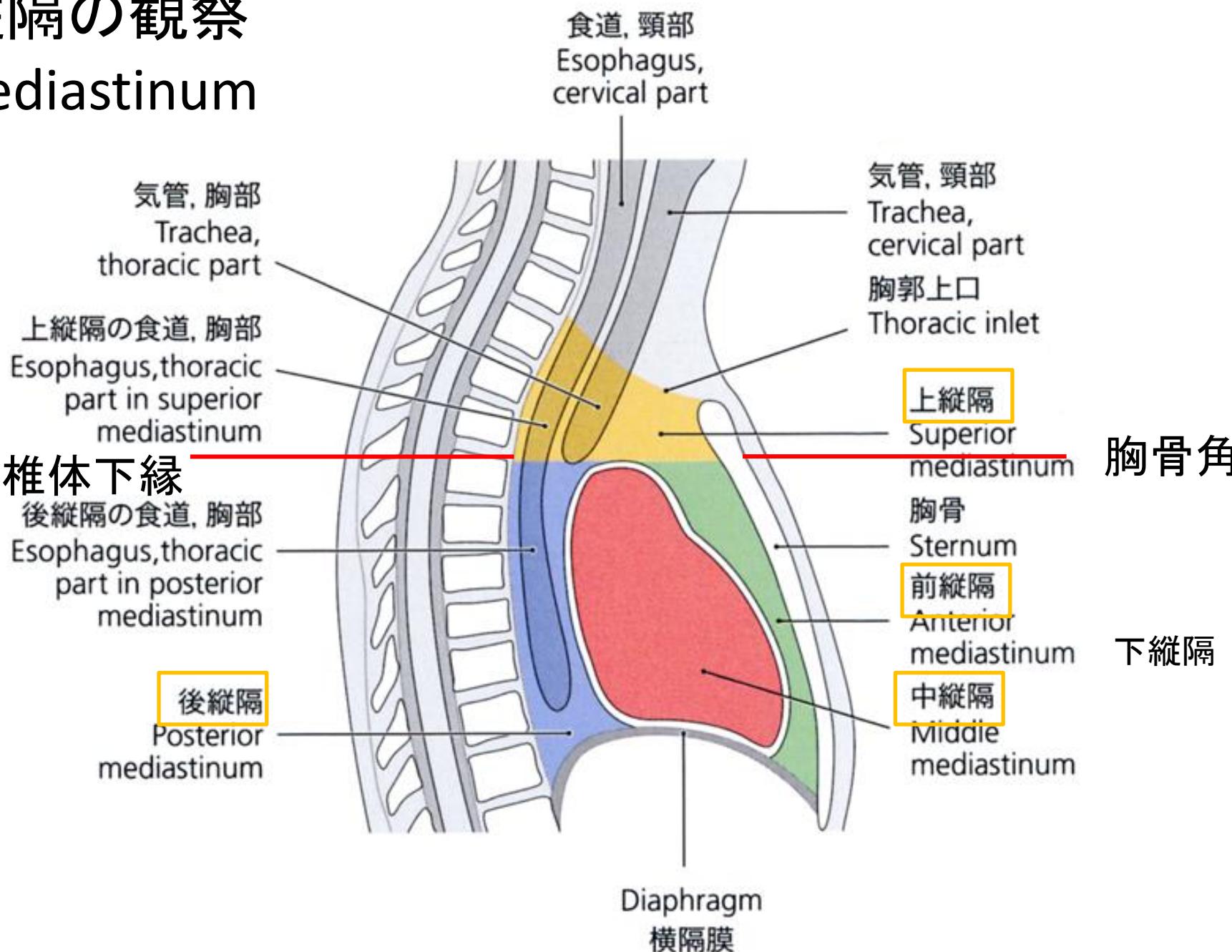
c) 肺静脈(左右それぞれ2本)

d) 上大静脈

\* 脂肪で血管がわかりにくい場合は、脂肪を除去してから血管を切る。



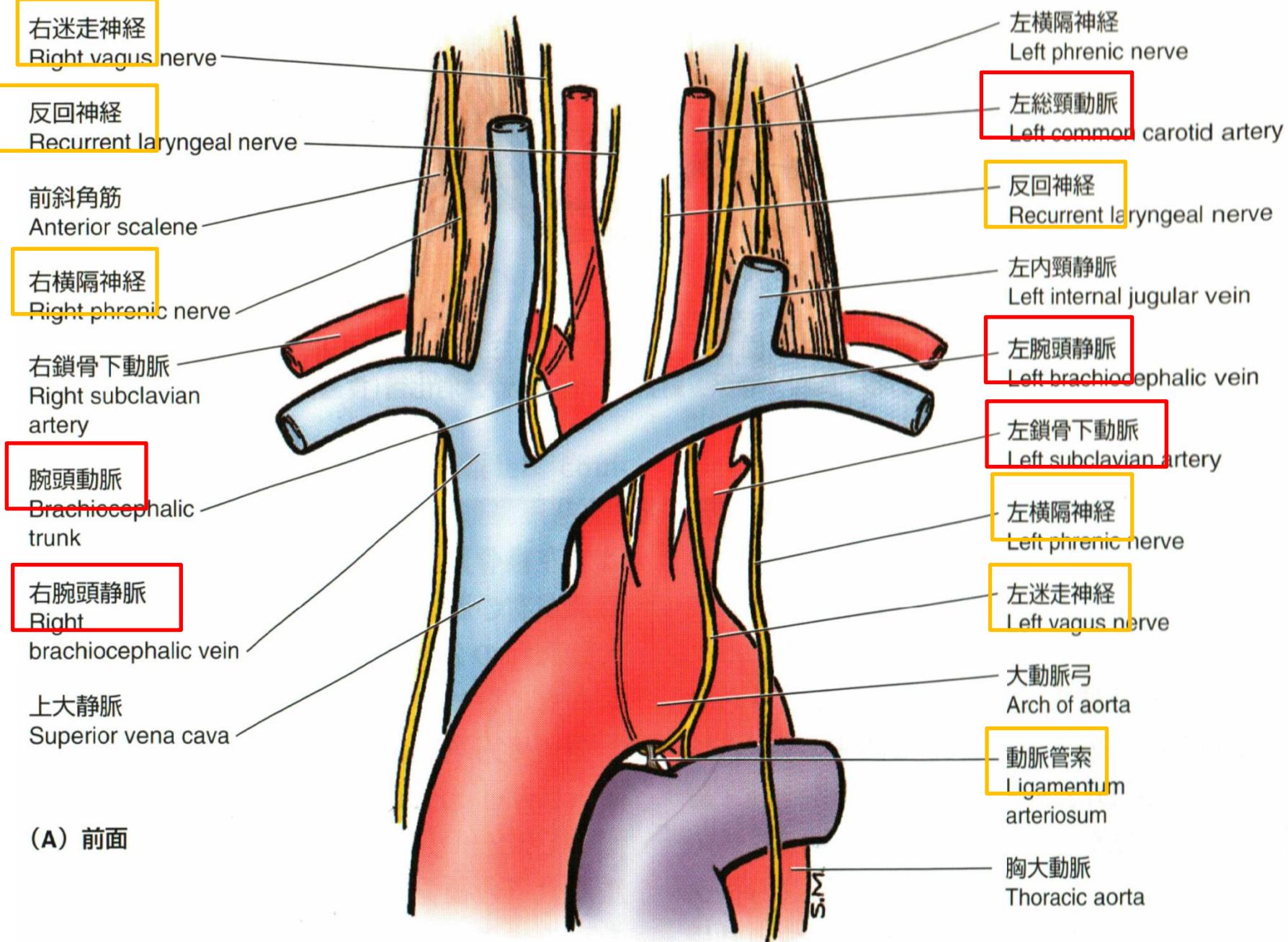
# 縦隔の観察 mediastinum



# 縦隔の観察

- ・心膜を除去する。
- ・肺動脈・肺静脈を除去する。
- ・後壁の壁側胸膜を剥がす。

# 神経、血管を剖出する。



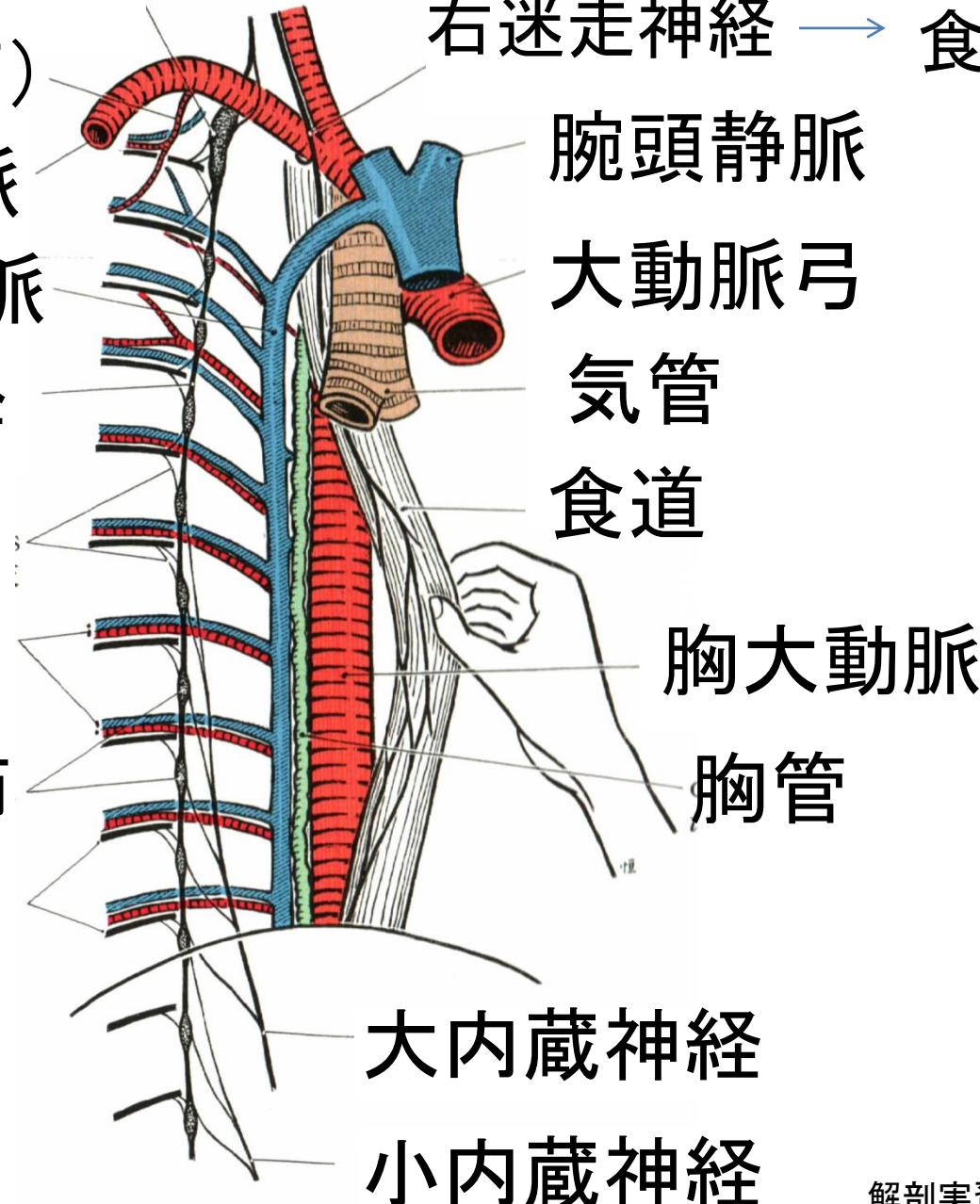
頸胸神経節  
(星状神経節)

鎖骨下動脈

奇靜脈

交感神経幹

胸神経節



左迷走神経 → 食道前面へ  
右迷走神経 → 食道後面へ

腕頭靜脈

大動脈弓

気管

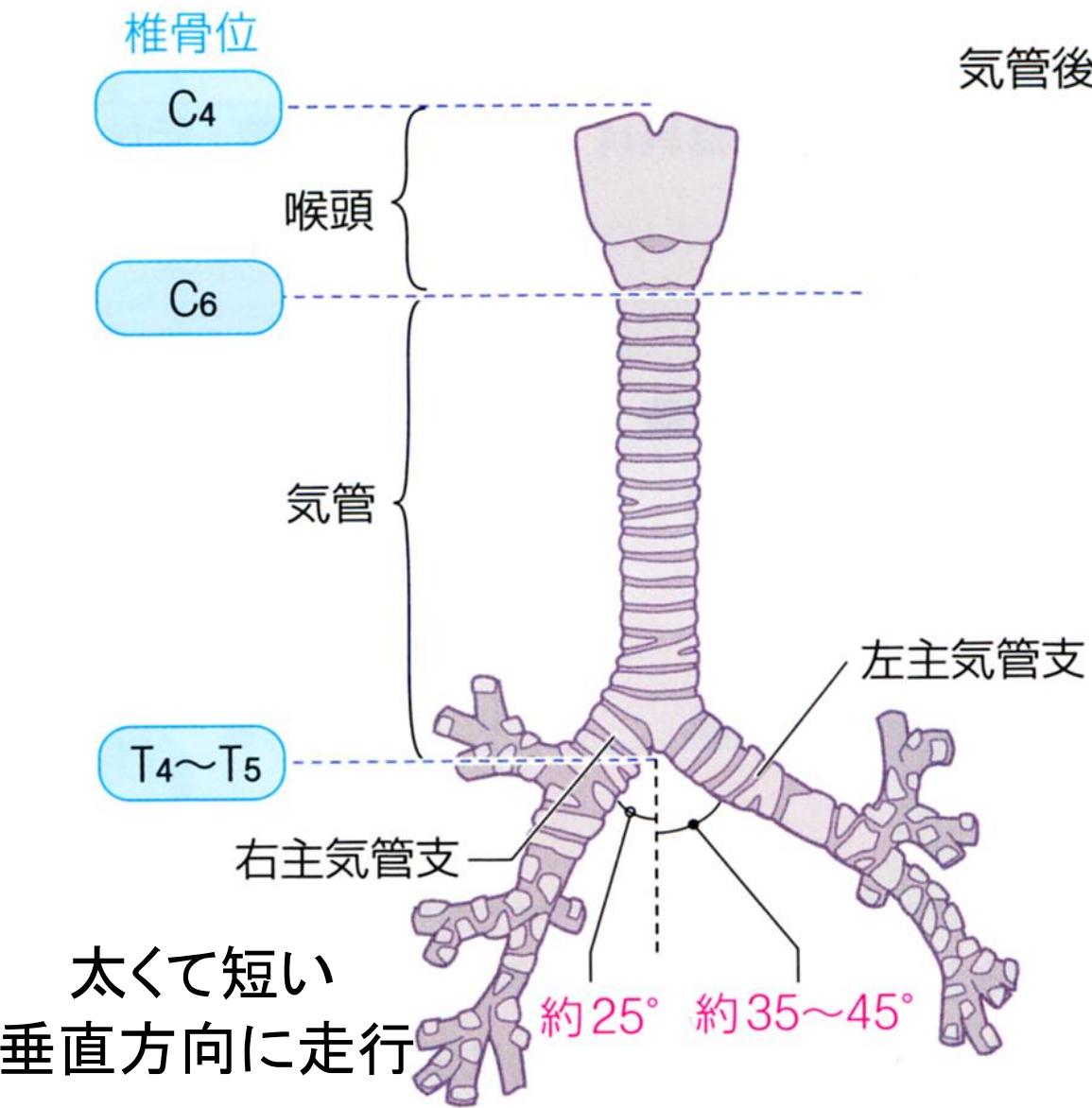
食道

胸大動脈

胸管

# 気管 Trachea

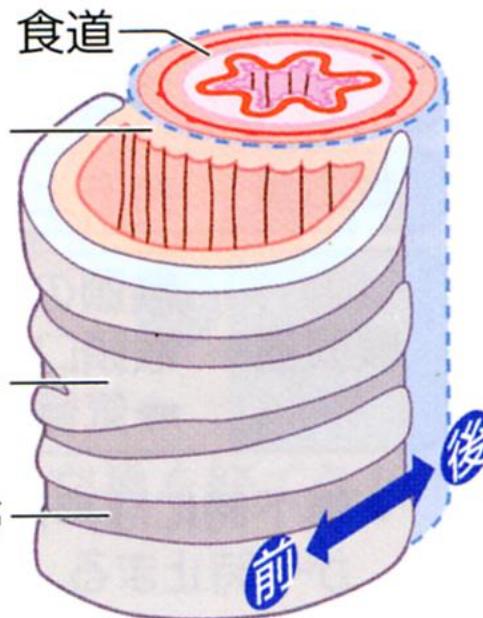
手引きP. 12



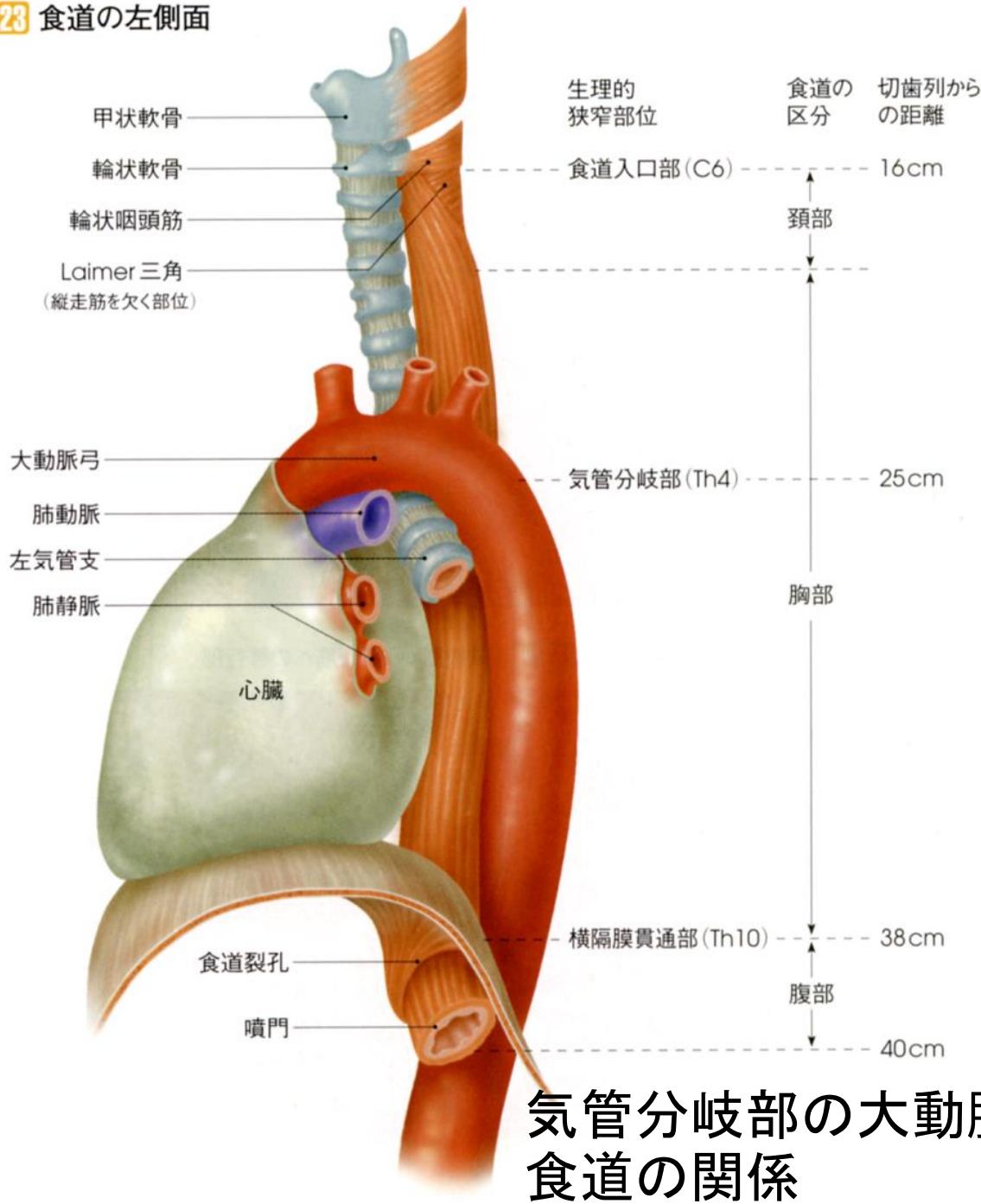
気管後側の膜性壁  
(膜様部)

気管軟骨

輪状韌帶

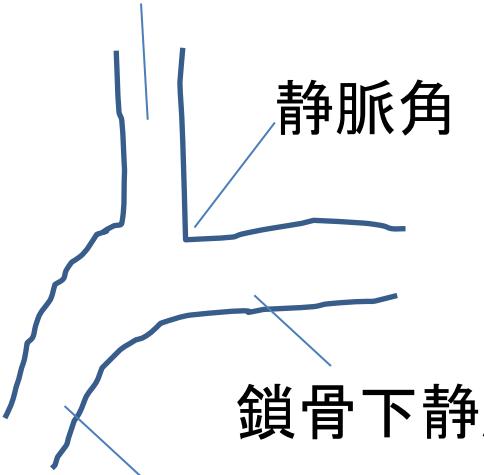


## 23 食道の左側面



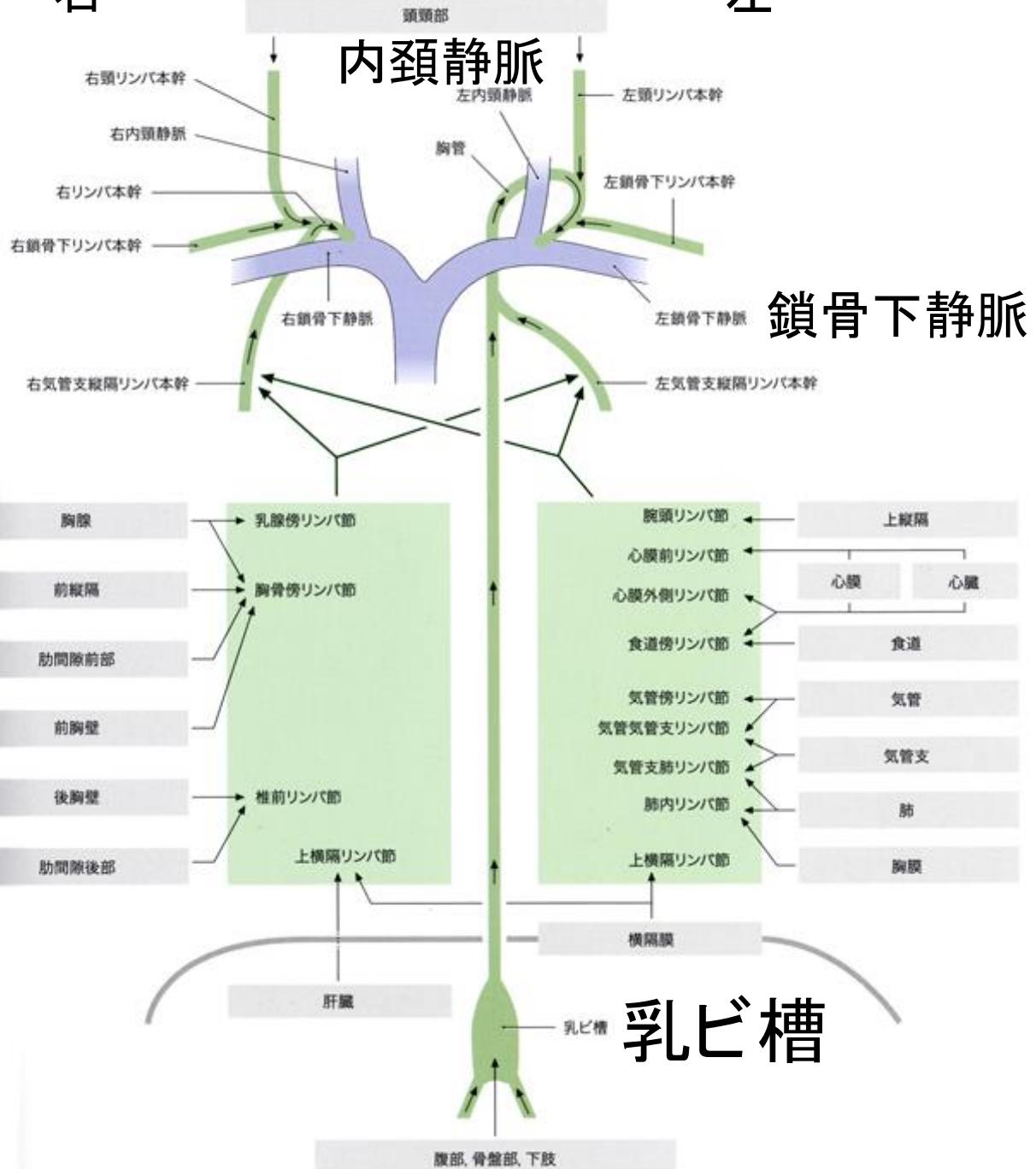
# 胸管 (リンパ管)

内頸静脈

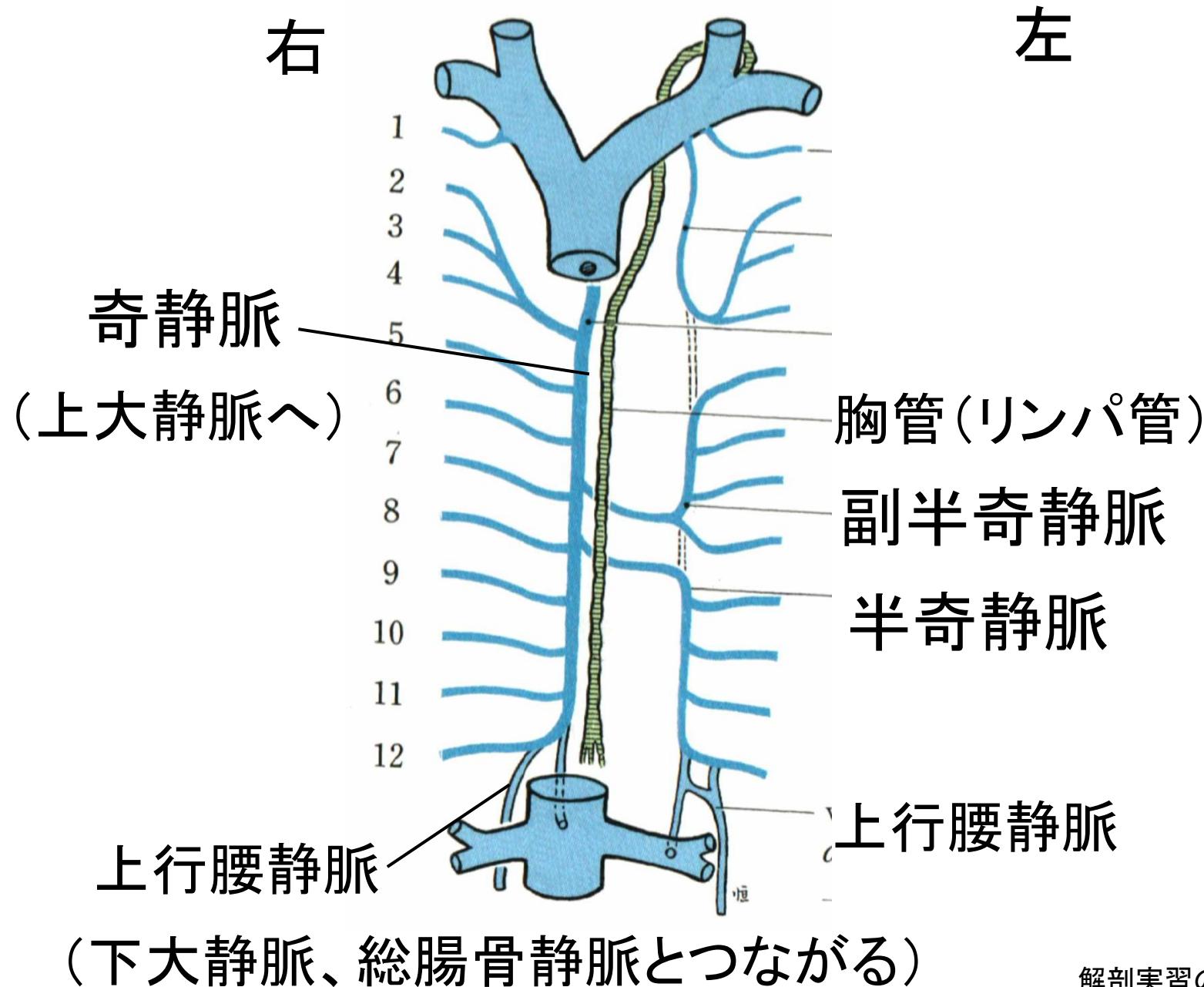


腕頭靜脈

右 左



# 奇静脉系 (胸・腹壁、気管支、食道、心膜、横隔膜からの血液を集める)



頸胸神経節  
(星状神経節)

鎖骨下動脈

奇靜脈

交感神経幹

胸神経節

左迷走神経 → 食道前面へ  
右迷走神経 → 食道後面へ

腕頭靜脈

大動脈弓

氣管

食道

胸大動脈

胸管

大内蔵神経

小内蔵神経

# 心臓の解剖

手引きP. 15

大血管に詰まっている血液の塊をピンセットでとる。

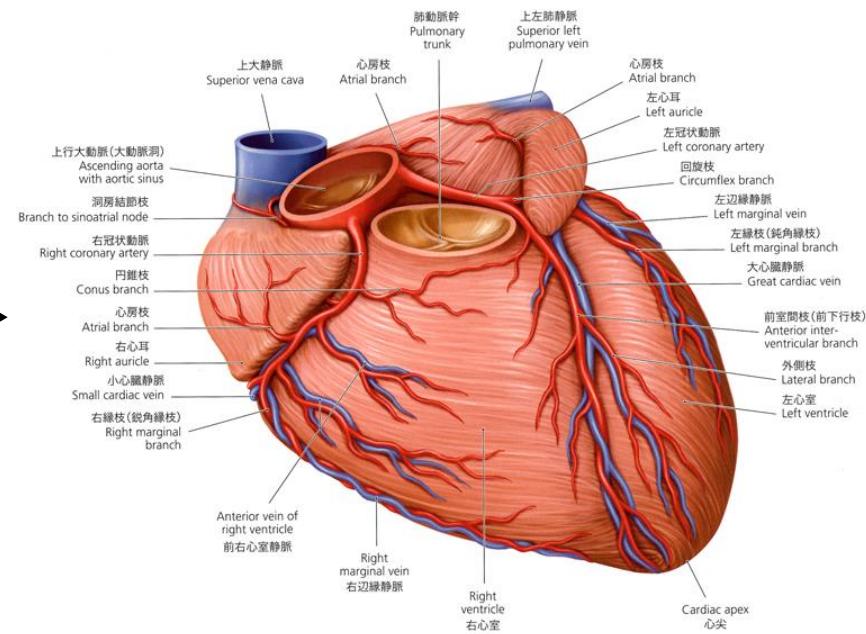
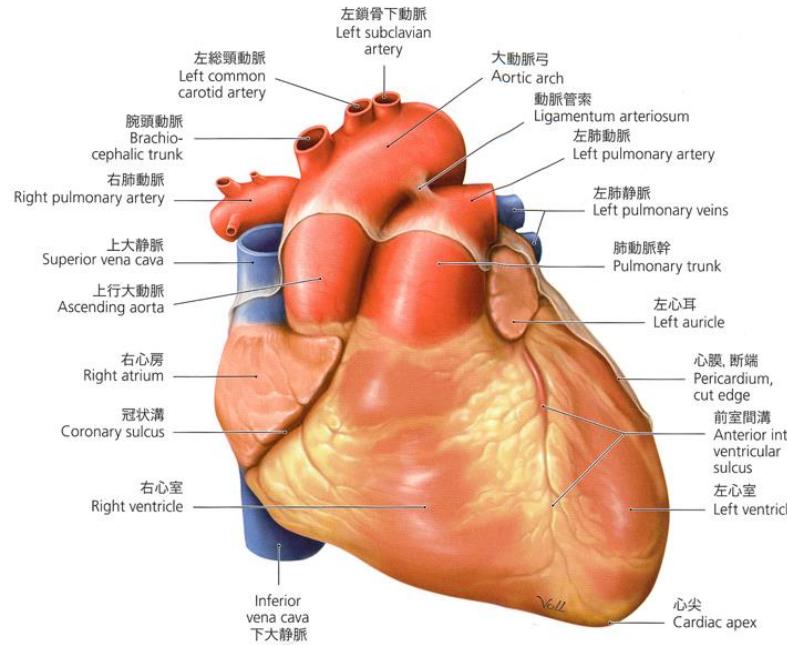


必要があれば水道で洗う。(血液の塊は下水へ流さない。)



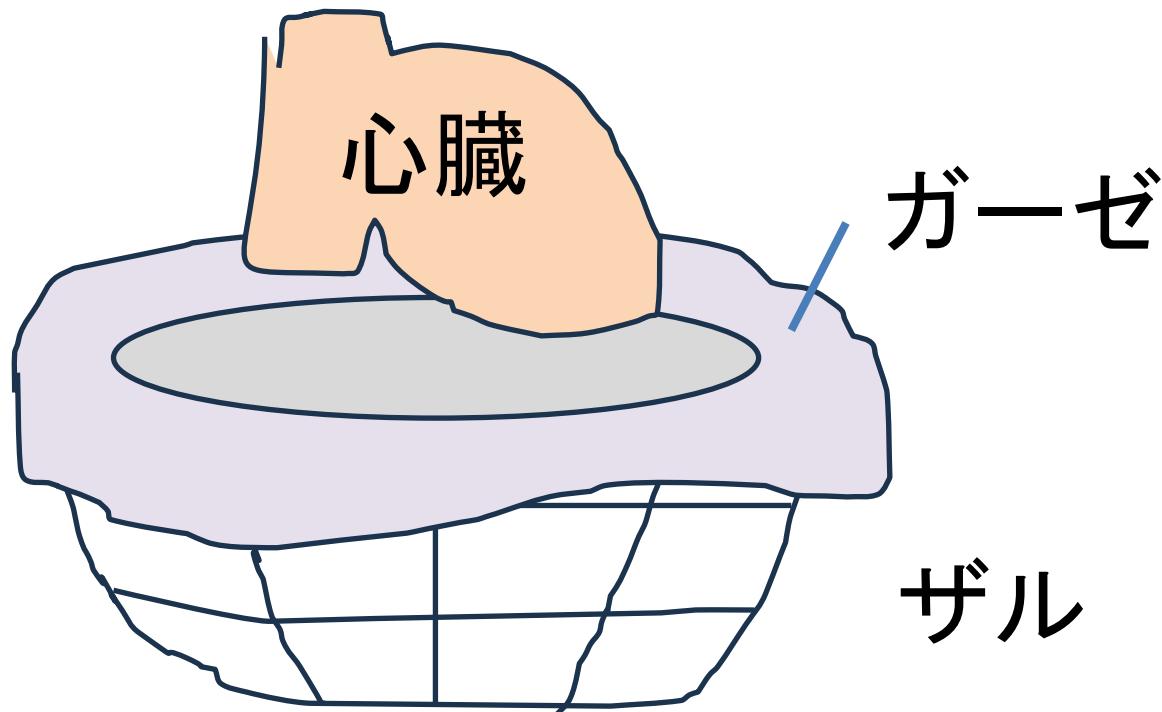
心外膜、脂肪を取りながら、血管をだす。

- ・冠状静脈洞
- ・大心臓静脈
- ・中心臓静脈
- ・小心臓静脈
- ・右冠状静脈→後室間枝
- ・左冠状静脈→回旋枝・前室間枝

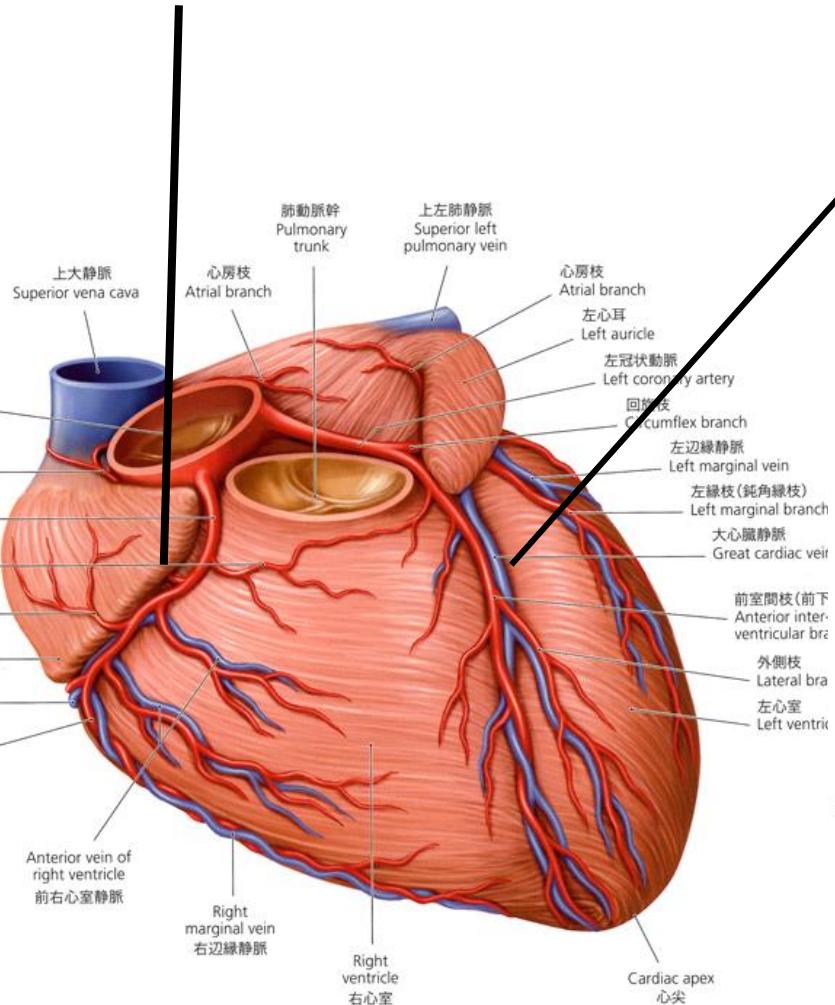


# 心臓は必ずザルの上で洗うこと

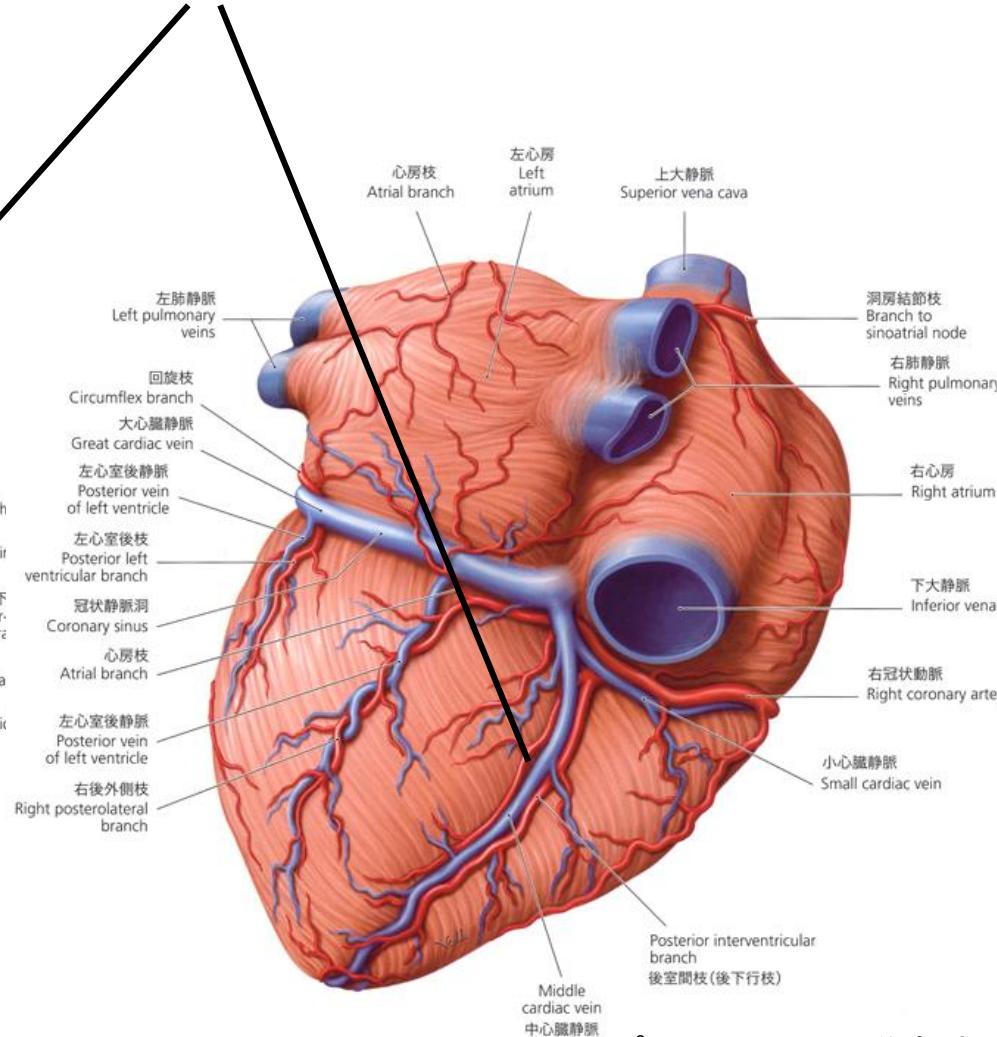
- ・ガーゼの血液と組織はガーゼに包んだまま各班の青いポリバケツへ。
- ・ザルに組織が残ったら全て取り除いて、その組織は各班の青いポリバケツに入れる。
- ・ザルを洗って、拭いてから棚に戻す。



## 冠状溝(心房と心室の境)



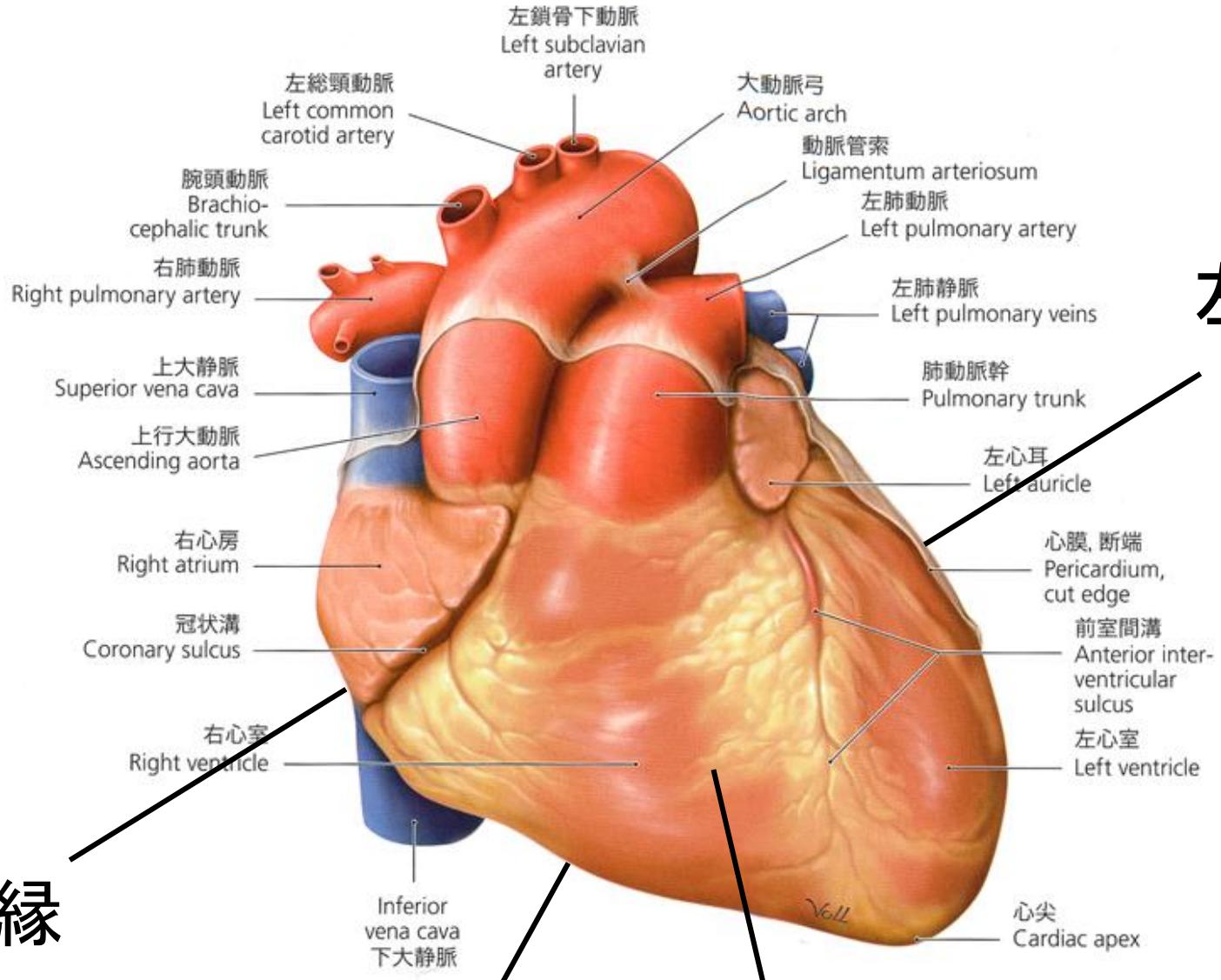
## 前・後室間溝(左右の心室の境)



右縁

左縁

横隔面(下面) 胸肋面(前面)

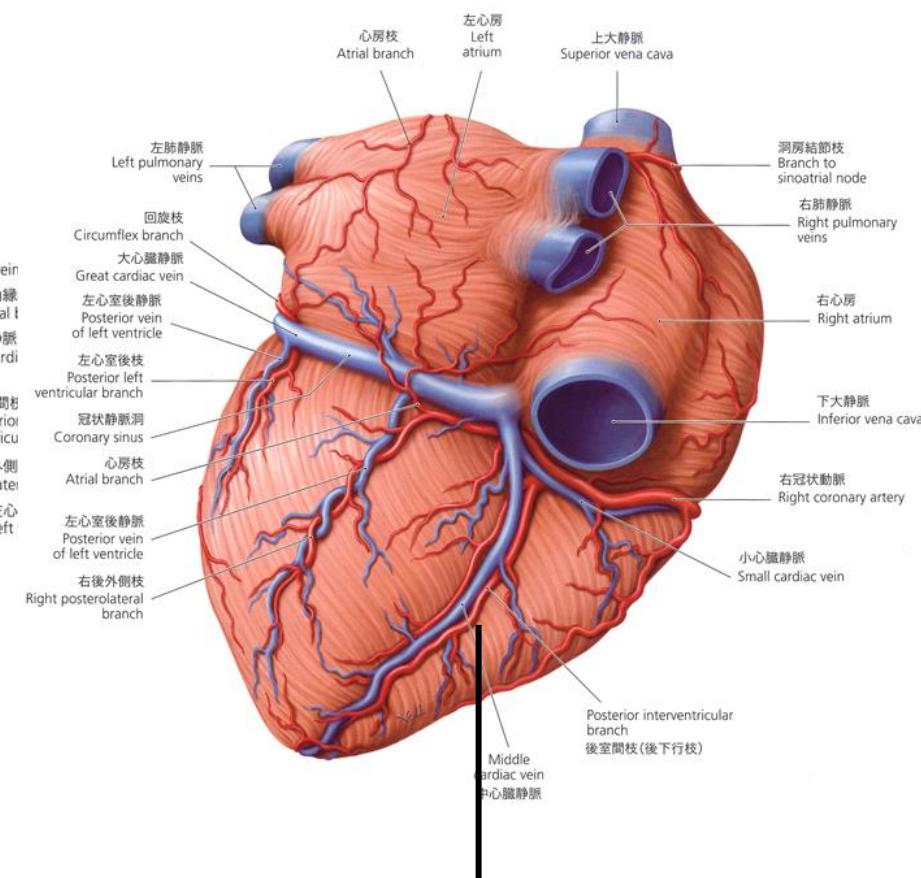
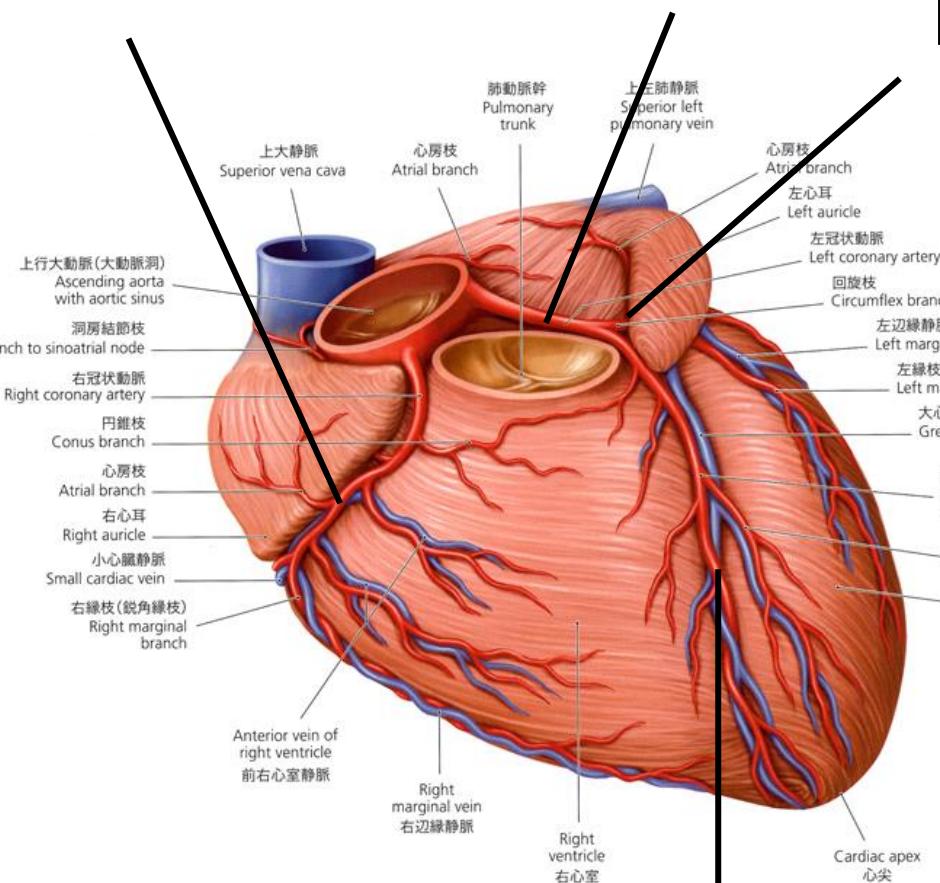


# 血管の観察

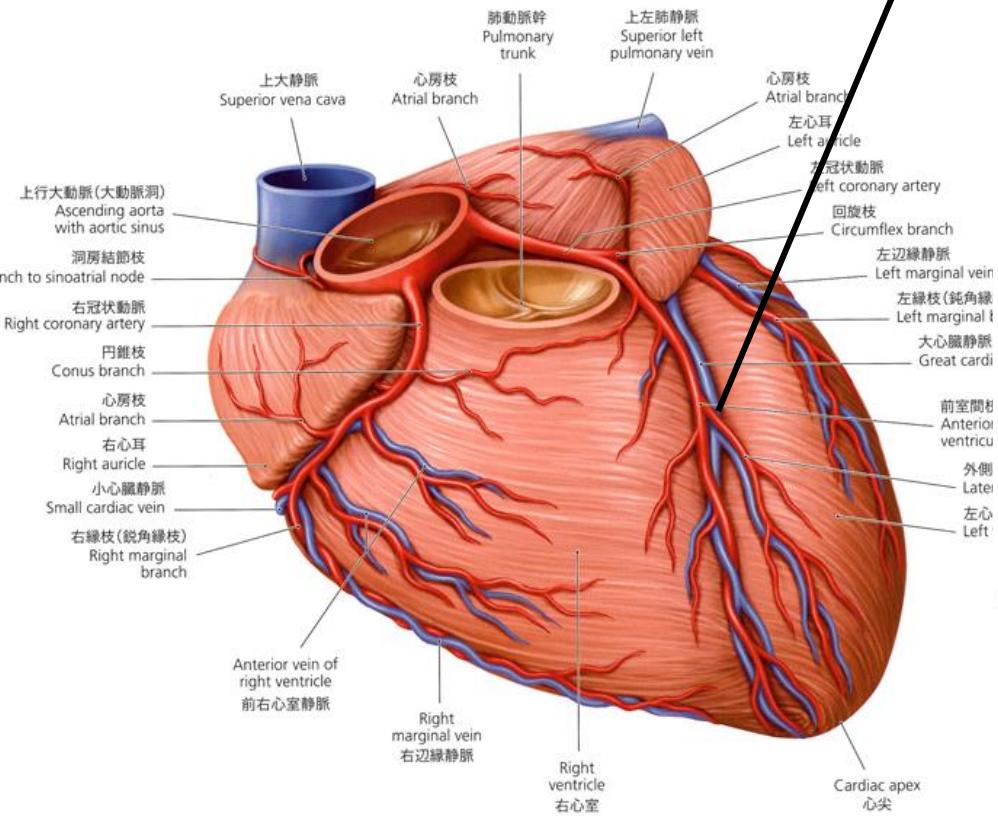
冠(状)動脈・心臓の栄養血管であり、終動脈である。

右冠状動脈 左冠状動脈

回旋枝

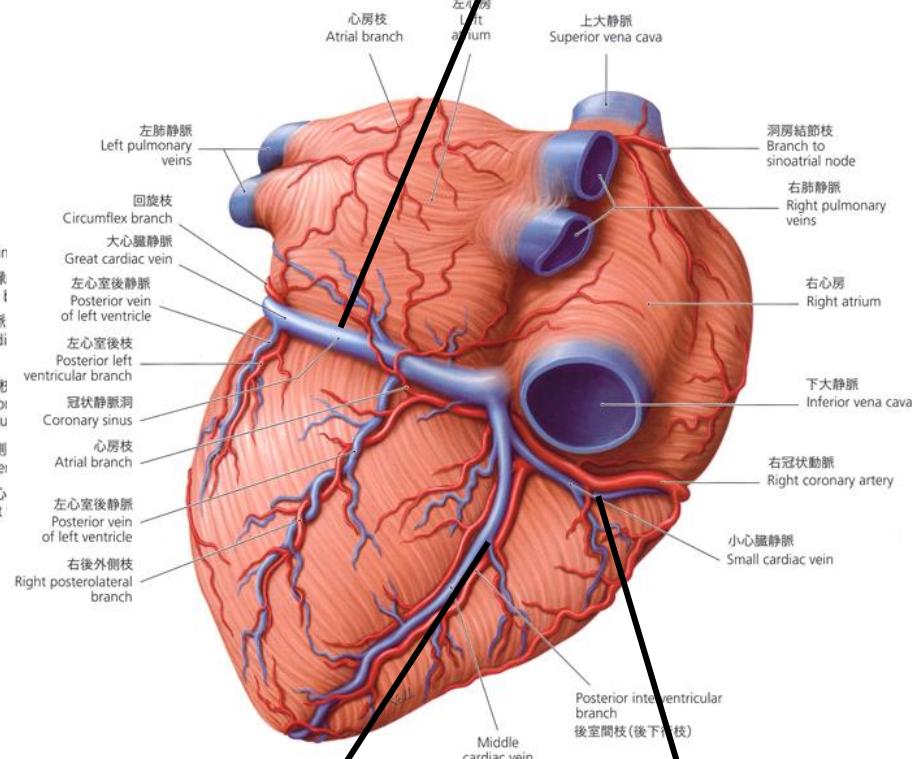


# 大心臟靜脈



# 中心臟靜脈

# 冠狀靜脈洞

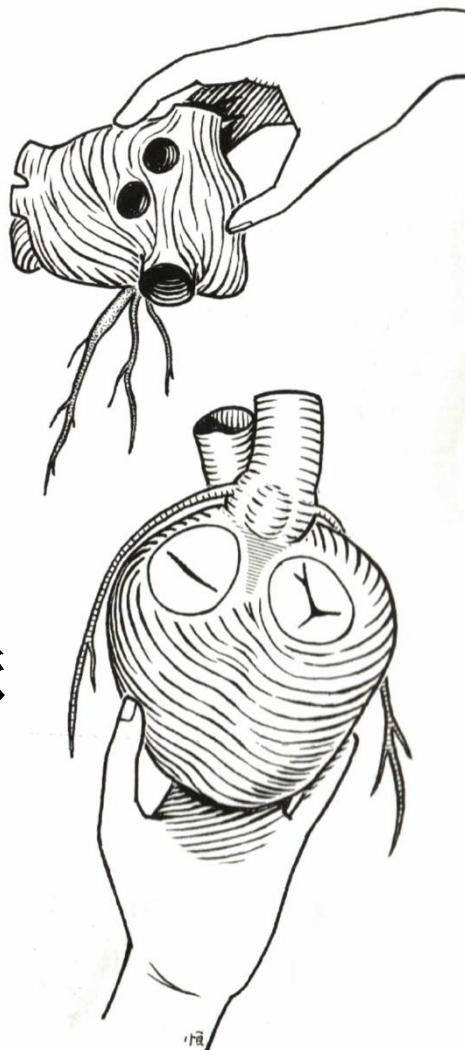


プロメテウス(医学書院)

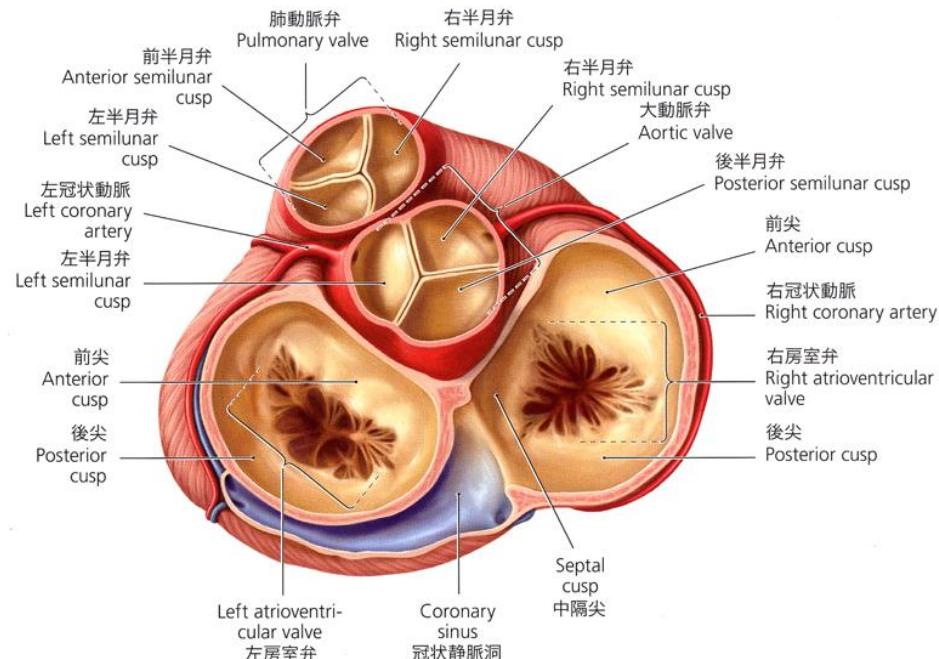
# 心臓内部の観察 (教員のチェックを受けてから) 手引きP.17

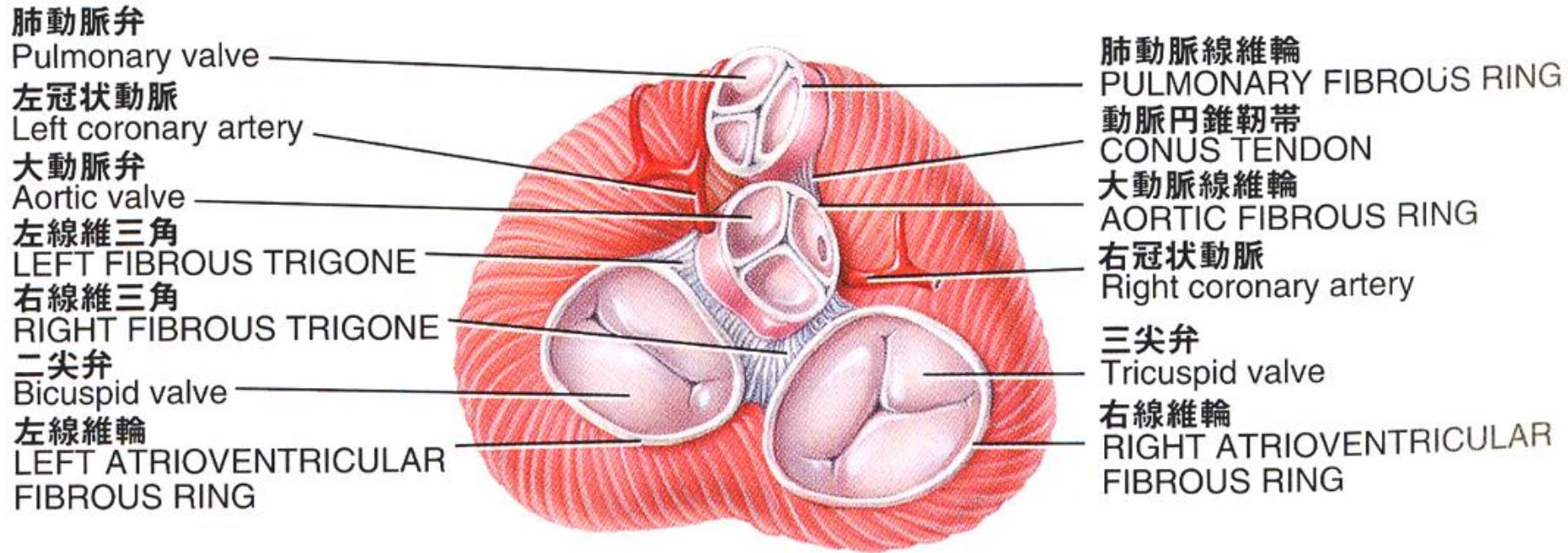
## 心房と心室を分離する(奇数班)

心房と静脈



心室と動脈

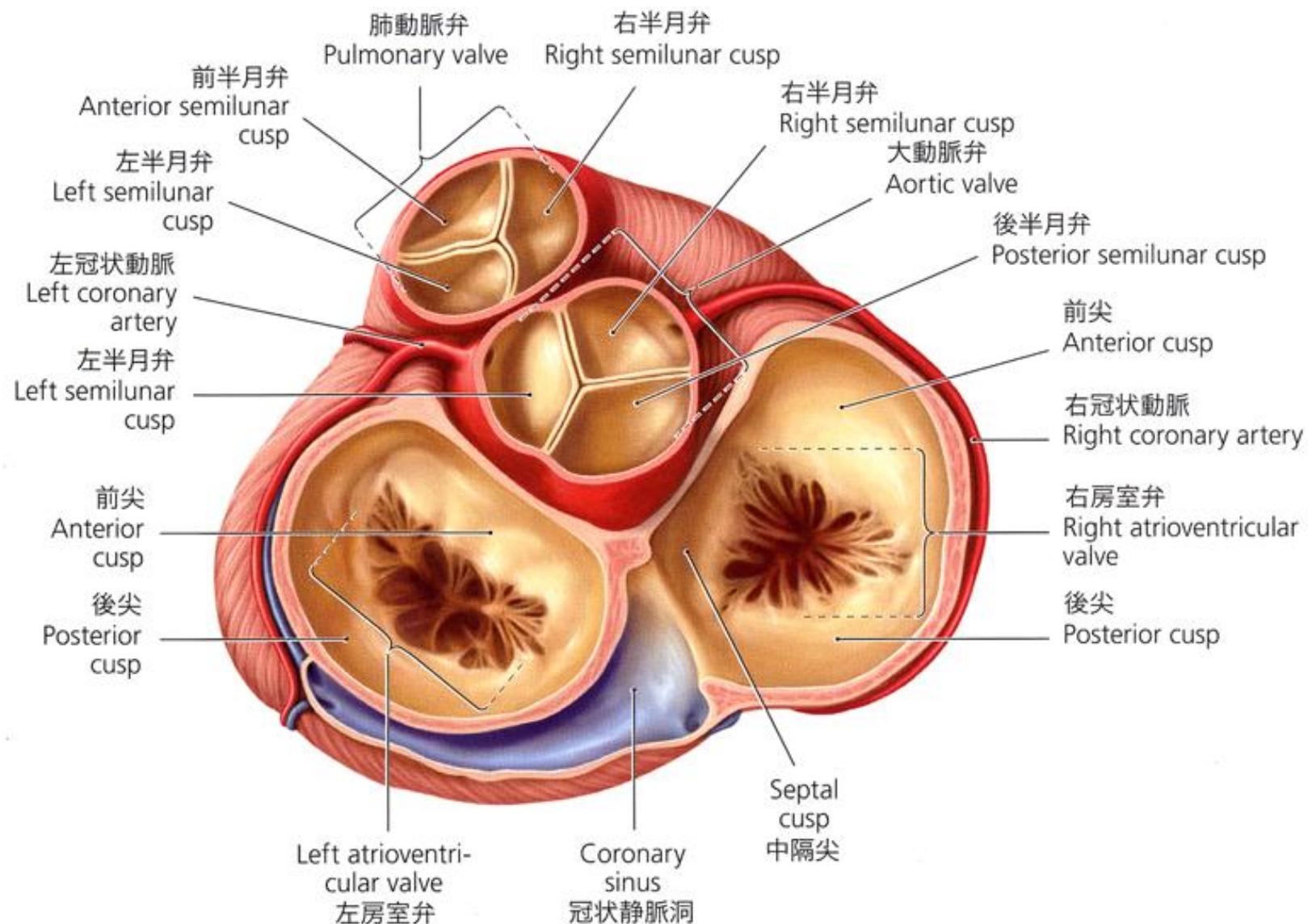


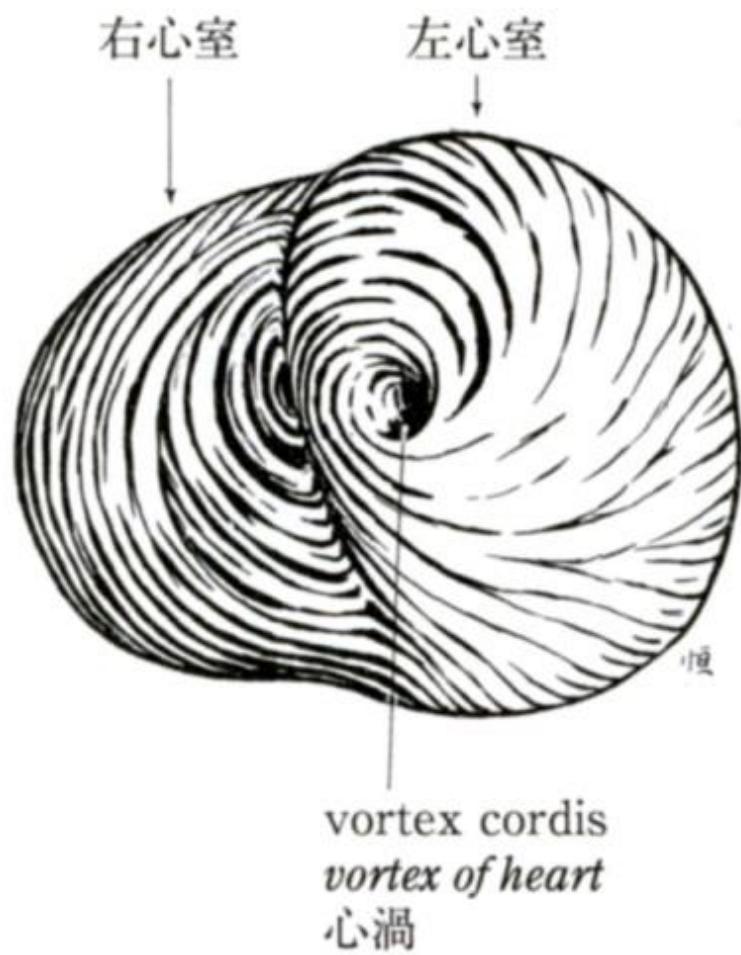


## 心臓の線維性骨格 手引きP.21

- ・弁口が過度に広がるのを防止
- ・心筋の起始、停止
- ・弁の付着部
- ・絶縁体(心房と心室の間を絶縁)

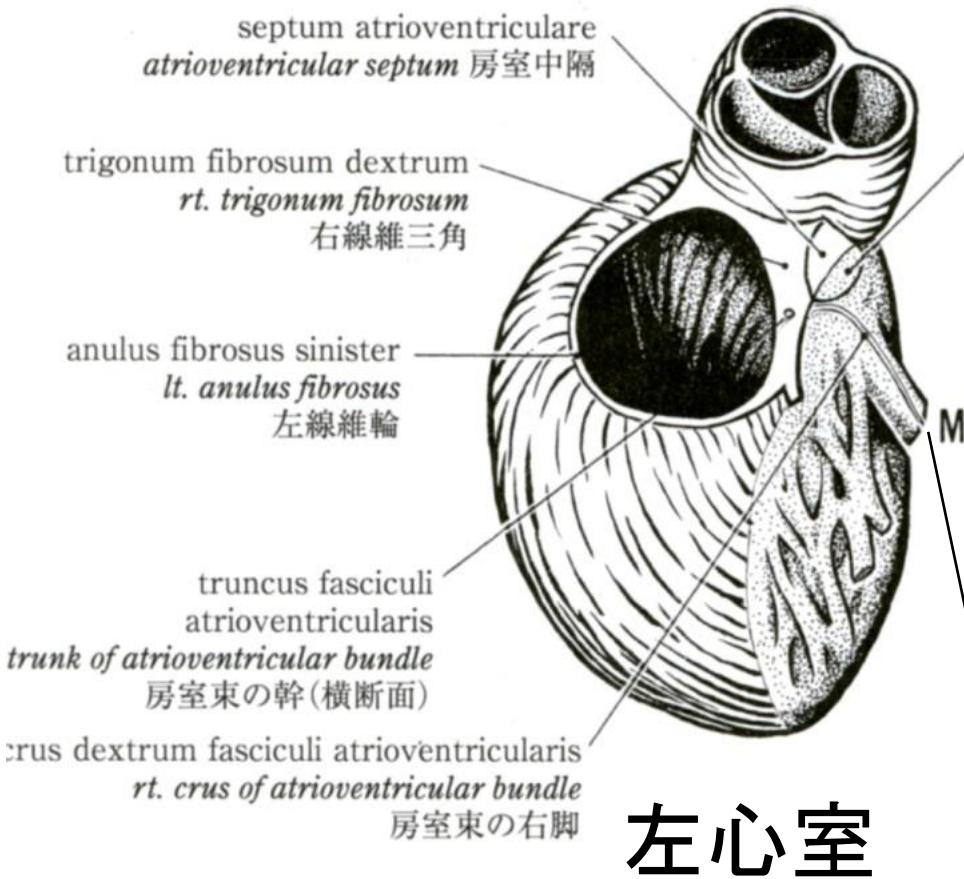
# 内部観察





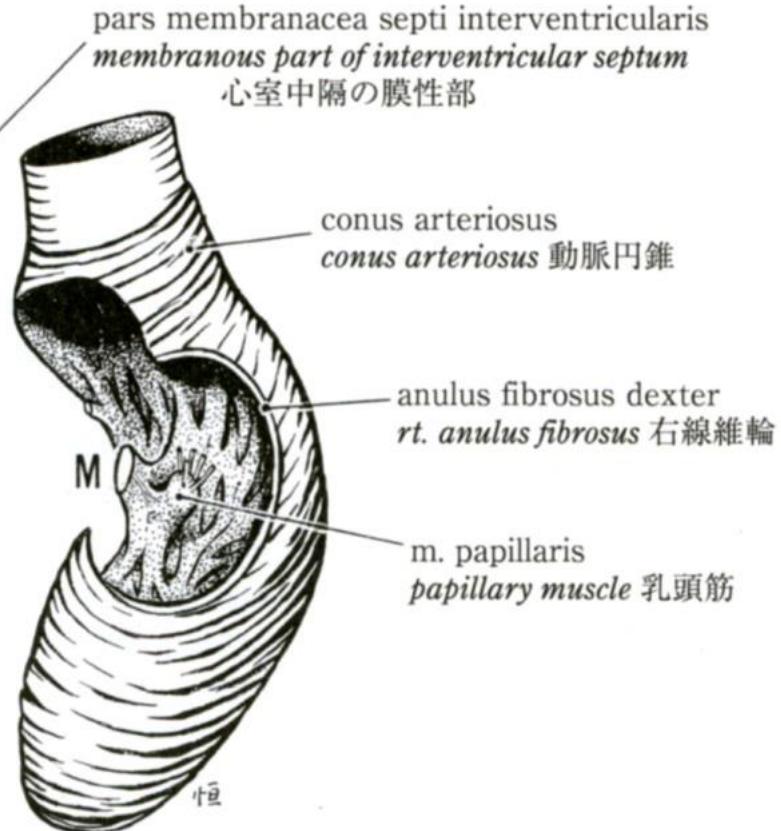
99. 心室の筋層の解剖を下から  
見たところ

# 大動脈



左心室

# 肺動脈



右心室

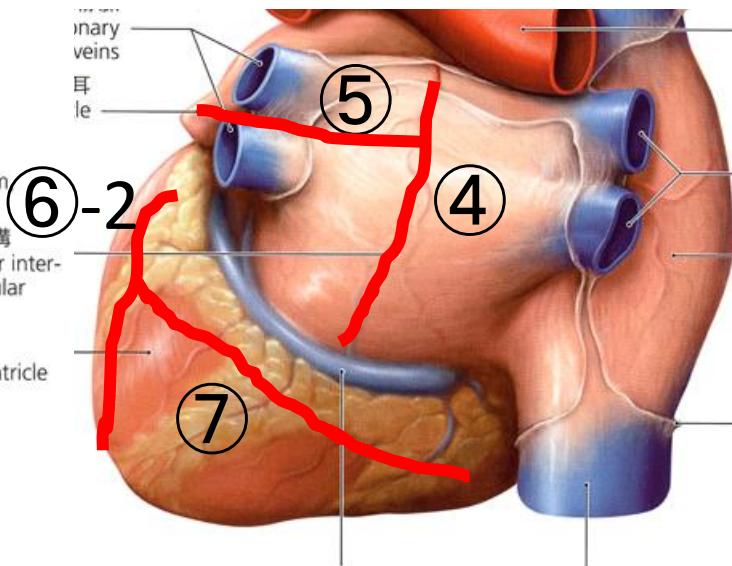
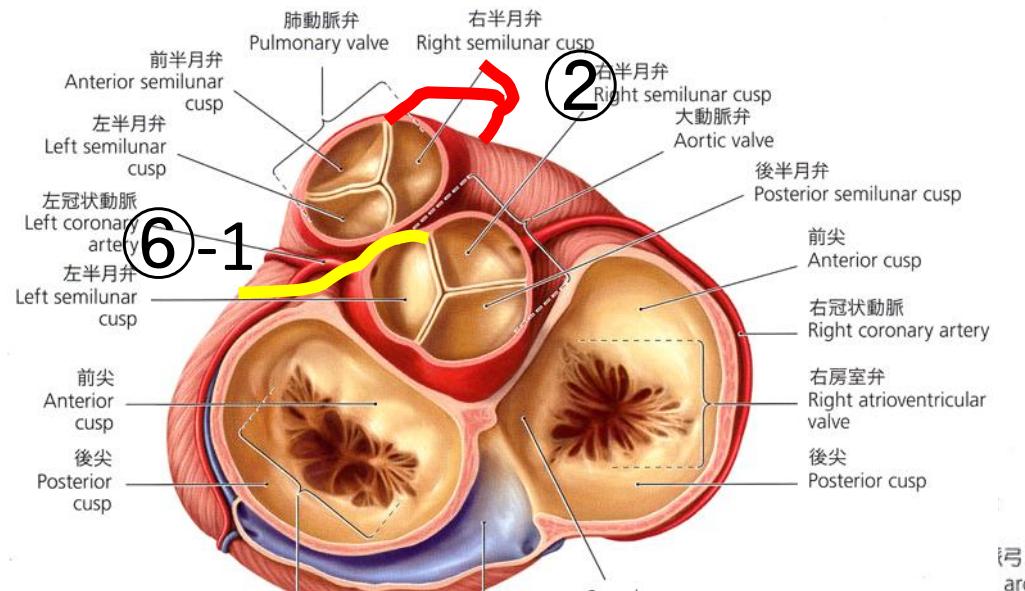
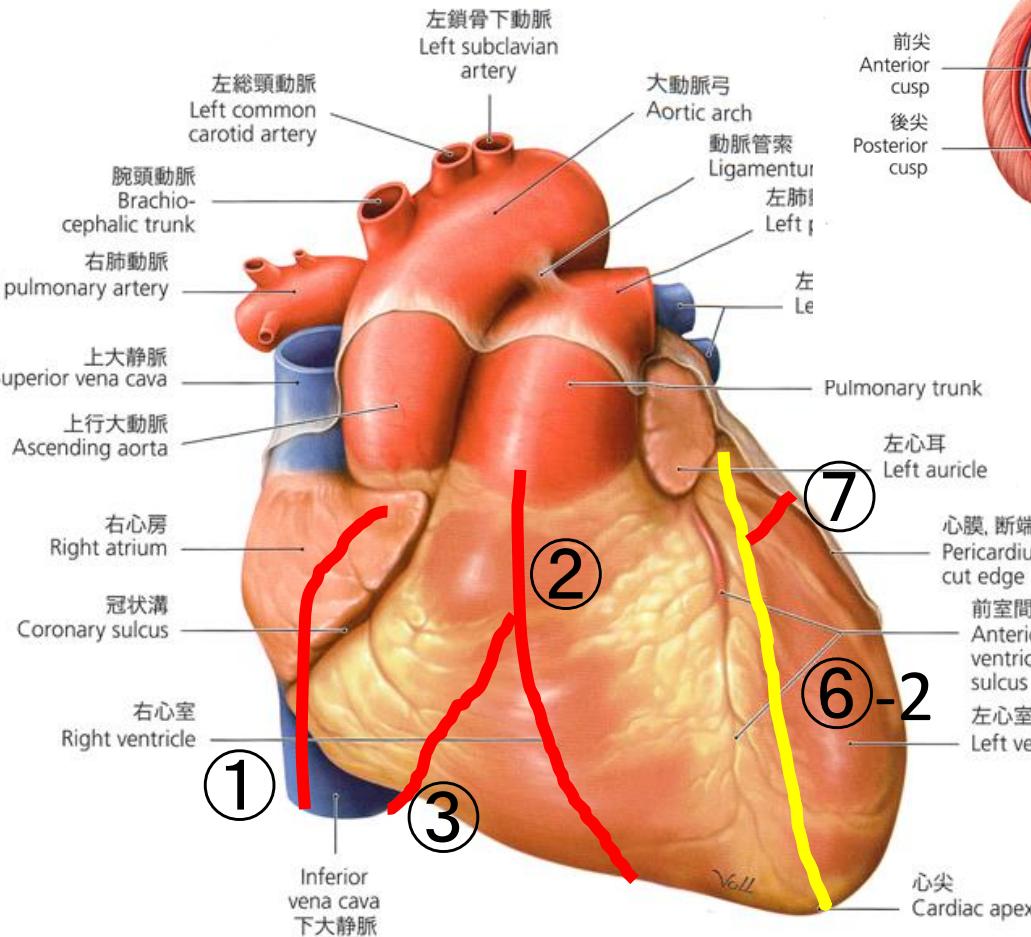
中隔縁柱

右心室にある心室中隔から前乳頭筋の基部にかけて横断する

# 心臓内部の観察

(教員のチェックを受けてから)

## 心臓を切開する(偶数班)



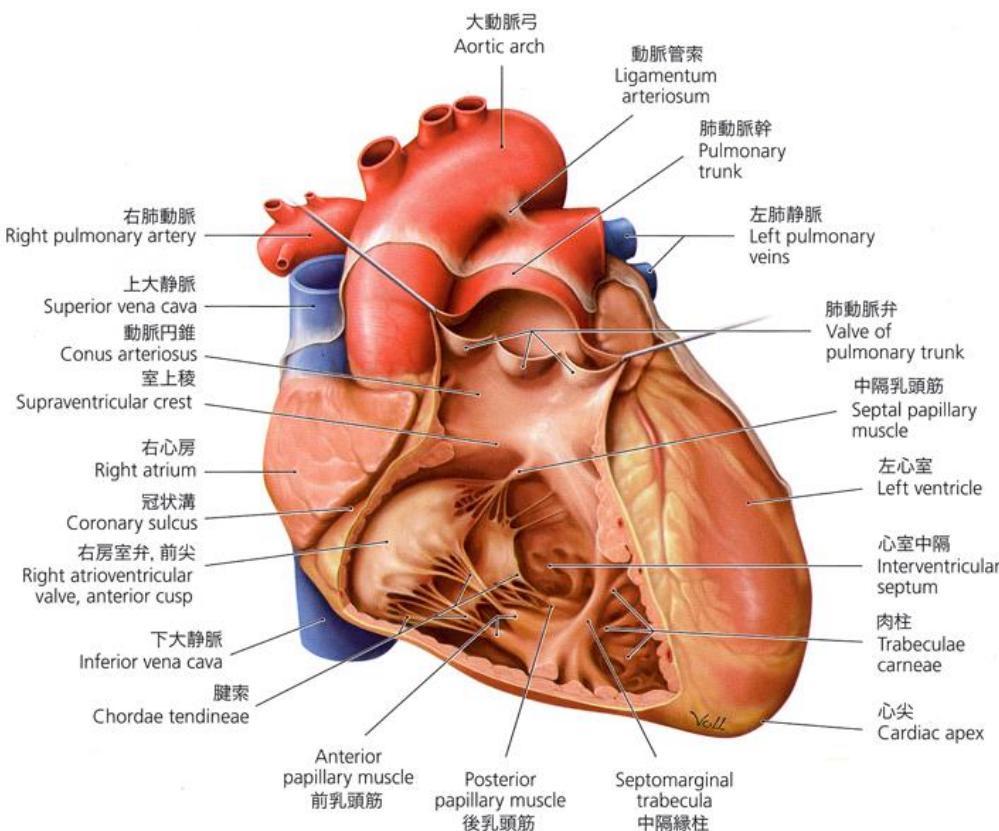
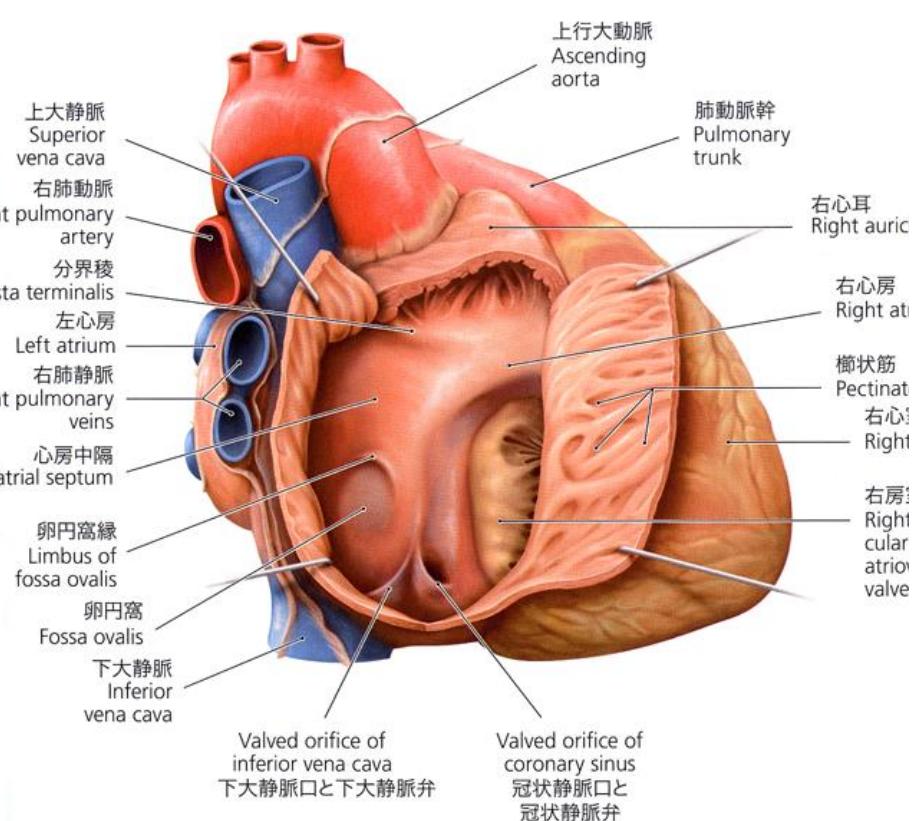
① →右心房を開く方法

②③→右心室を開く方法

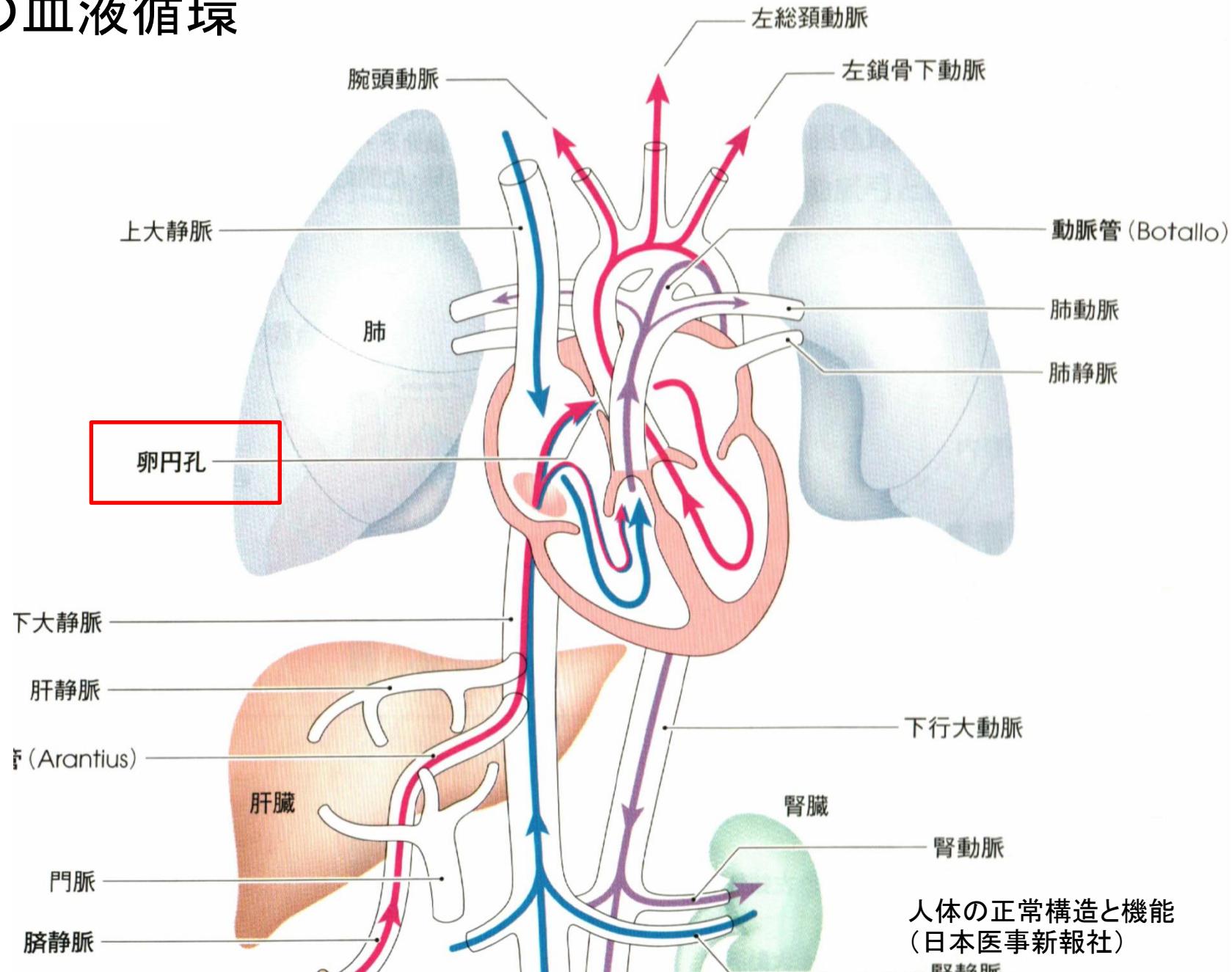
④⑤→左心房を開く方法

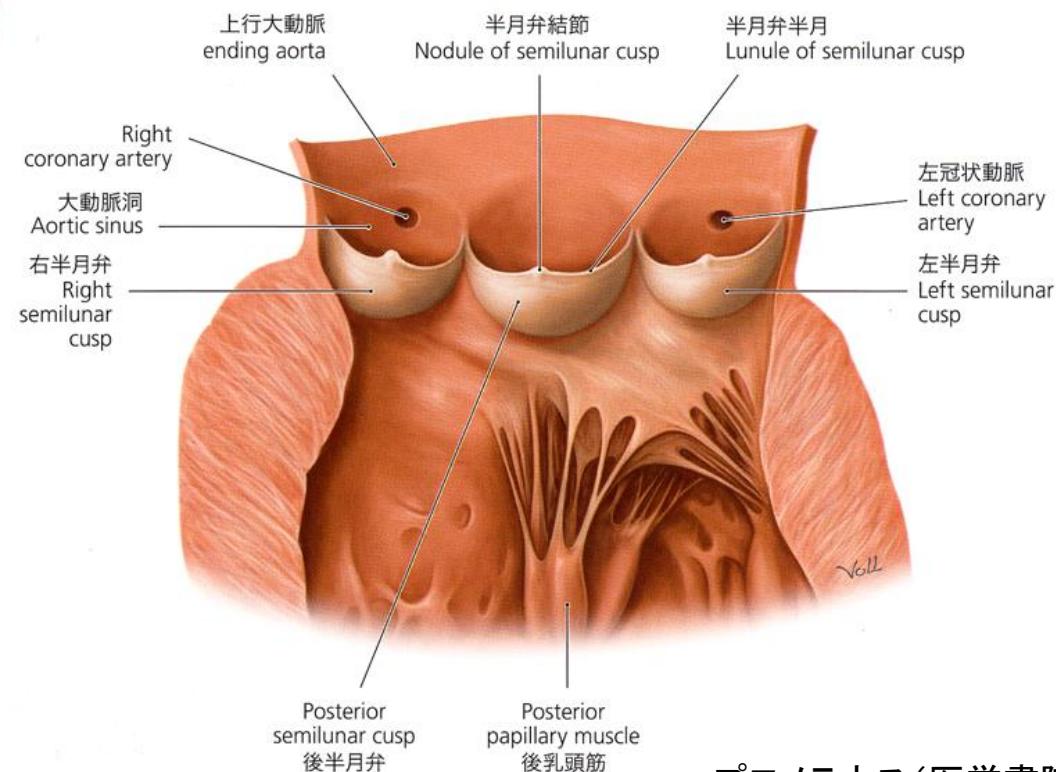
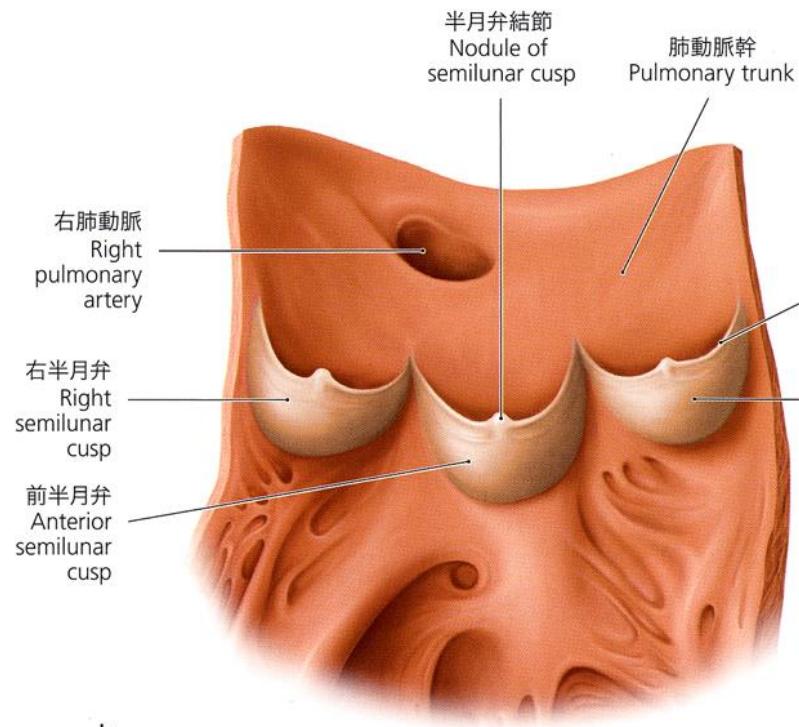
⑥⑦→左心室を開く方法

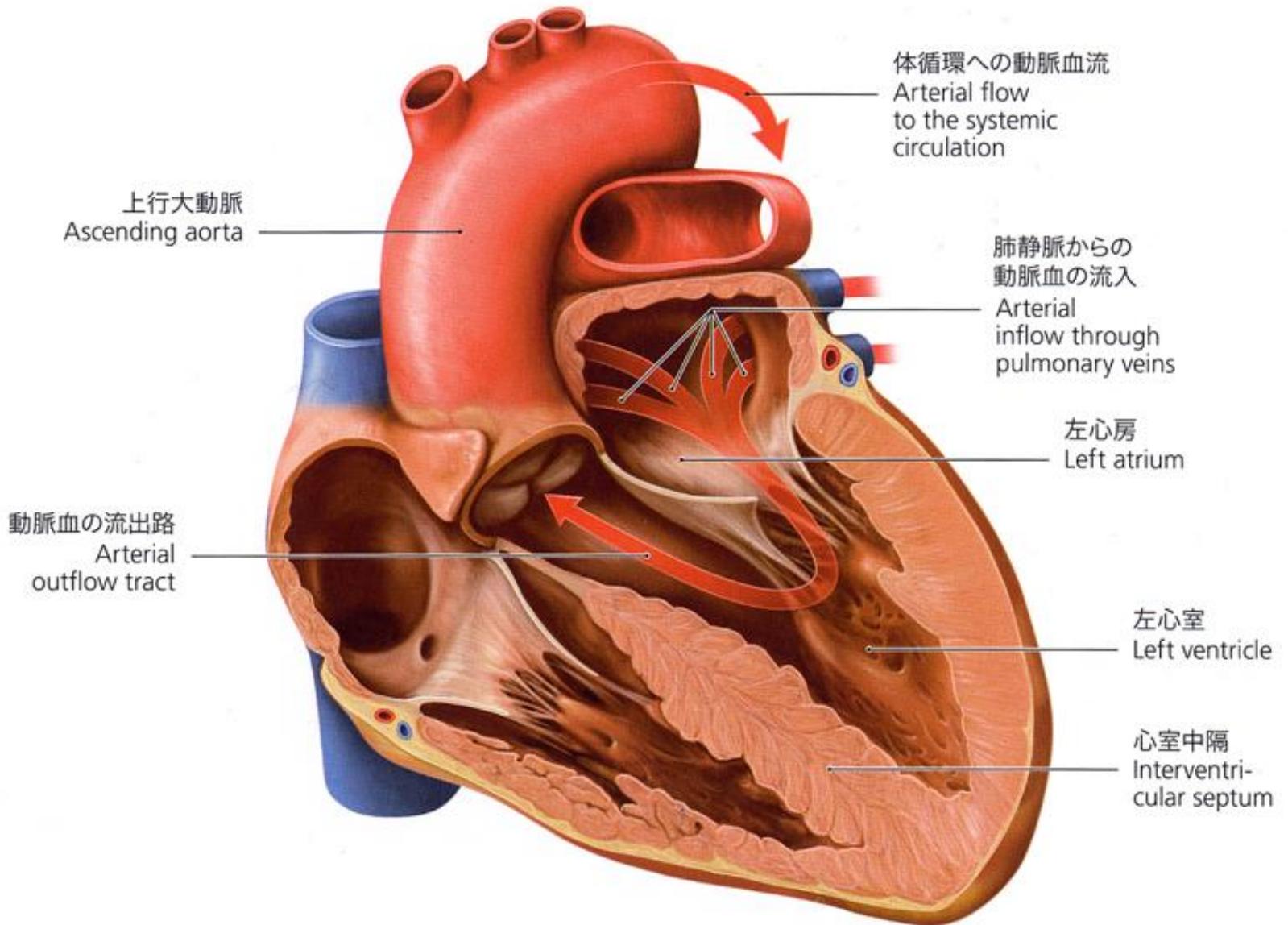
解剖した心臓で確認する内部構造は手引きP. 19～(奇数班、偶数班共に)



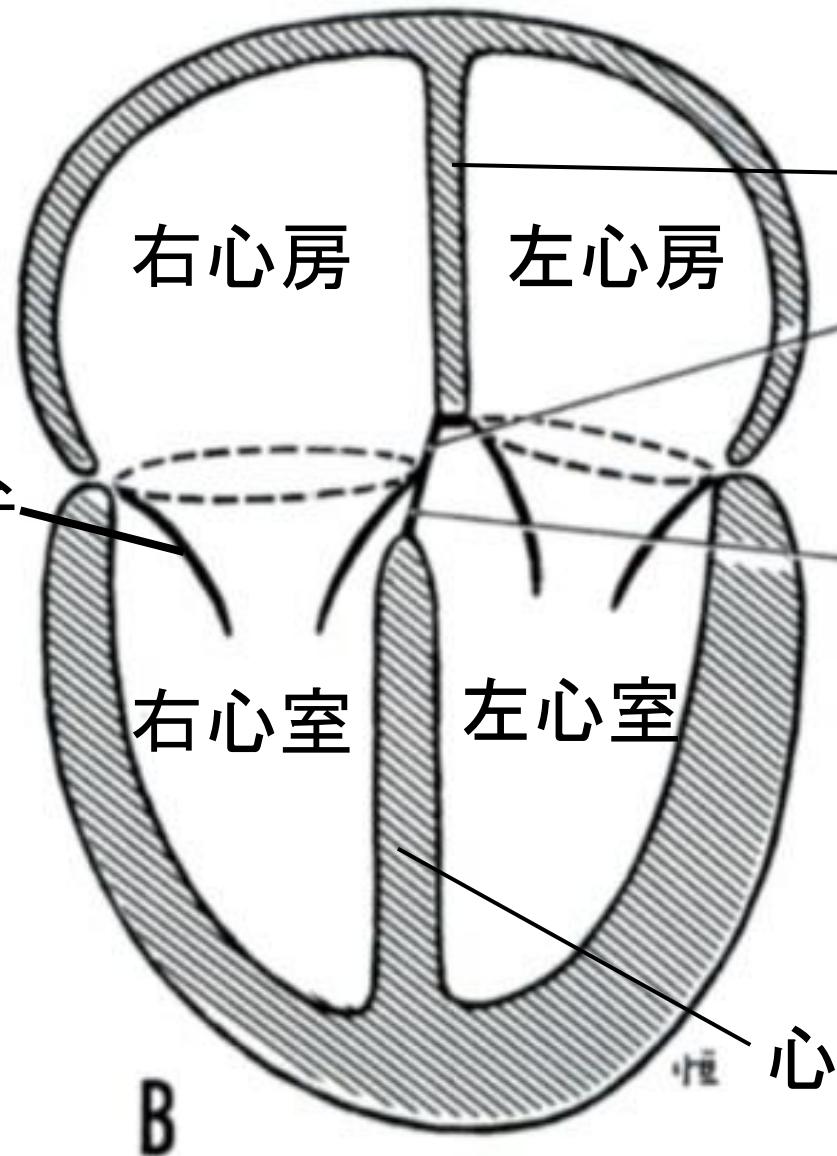
# 胎児の血液循環







心室の壁の厚さの違い



心房中隔

septum atrioventriculare  
*atrioventricular septum*

房室中隔

pars membranacea septi  
interventricularis  
*membranous part of  
interventricular septum*

心室中隔の膜性部

心室中隔の筋性部

前回終わってない班は前回の続きから

- 1、大血管を剖出し、心臓をとりだす
- 2、縦隔の観察

- ・心膜、肺動脈、肺静脈をとる。後胸壁の壁側胸膜を剥がす。
- ・血管(腕頭靜脈、大動脈弓からの分岐など)、反回神経を剖出する
- ・気管分岐部、食道の観察
- ・交感神経幹(星状神経節)、胸管、奇靜脈(上大靜脈へのつながりを出す)、迷走神経(食道の前後面への)の剖出

### 3、心臓の解剖と観察

・2と3は同時作業でも可

- ・脂肪をとり、血管を剖出し、観察する(全班)



教員のチェックを受ける

奇数班は心房と心室を分離する方法で  
偶数班は心臓を切開する方法で行う



内部観察を行う

全て終わったら教員のチェックを受ける